

長野県投開票集計システム更改事業に係る委託契約 選定基準

評価項目	判断基準	配点
	システム更改業務の内容	-
①	県選管の業務の効率性が確保されるか 投開票速報の報告を受けてから、確認、集計及び発表までの業務が効率よく行えるシステムとして設計されているか。また、20分に一度の開票状況を公表するための合理的な設計となっているか。	30
②	ミス等の防止機能は十全か 入力ミス、送信ミス、操作ミスなどの防止機能、不合理な投開票速報値について警告する等のエラー防止の機能を有しているか。	20
③	セキュリティの確保はなされているか 外部からの不正な侵入、ウィルス等によるシステムの損傷や投開票速報データの改ざん等を防止するため、ユーザ認証機能やデータの暗号化など、必要なセキュリティ対策が講じられているか。	20
④	システムの操作を容易に行えるか 分かりやすいユーザーインターフェイスを備え、受信状況、進捗状況等の確認が容易にできるように設計されているか。	30
	運用支援業務の実施体制、技術的適性等	-
⑤	参議院議員選挙に向けた運用支援は十分か 参議院議員通常選挙に向けた運用支援業務について、十分な検討がなされているか。	35
	業務に要する経費等	-
⑥	システム構築のコスト(今回契約分) システム更改業務及び第27回参議院議員通常選挙に向けた運用支援業務の委託費用は適正に見積もられているか。	5
⑦	選挙種類別の運用経費 開発年以降に執行が予定される各選挙(衆議院議員総選挙、知事選挙、県議会議員選挙)の運用経費は適正と見込まれるか。	10
	業務全般、トラブルへの対応、その他業務の目的を達成するために有効な事項等	-
⑧	受託者の選挙に関する知識・経験は十分か 国及び県の選挙制度を踏まえたシステムの設計がされているか。また、選挙の投開票速報について十分な経験を有する職員がシステム更改業務及び運用支援業務にあたる体制がとられているか。	30
⑨	トラブルへの対応策が講じられるか データのバックアップ、ログの管理などを十分に行えるか。また、万一の故障等に対して有効な復旧手段、サポート体制等が提示されているか。	20
⑩	業務目的を達するために有効な提案はあるか 業務全般を通じて、投開票速報事務の迅速かつ正確な執行に資する設計、提案などがなされているか。	20
評定合計		220

【評価計数】（評価点は、配点に評価計数を乗じて得るものとする。）

評価計数	1.00	0.80	0.60	0.40	0.20
評価視点	評価が特に高い	評価が高い	平均的	評価が低い	評価が特に低い

- ・各委員の評価結果を集計し、その評価点の合計は、最も高い提案者を委託契約候補者として選定する。
- ・選考の結果、評価点の最も高い者が同点で2者以上ある場合は、審査委員会の協議により候補者と次点者を選定する。